



2025年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月9日

上場会社名 ラオックスホールディングス株式会社
コード番号 8202 URL <https://www.laox.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長COO
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ財務経理室長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5405-8859

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	11,477	10.1	1,047	—	1,183	—	1,232	—
2024年12月期第1四半期	12,770	30.3	902	—	798	—	799	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 1,227百万円 (—%) 2024年12月期第1四半期 781百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	13.48	—
2024年12月期第1四半期	8.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	38,100	21,581	56.6
2024年12月期	44,061	22,991	52.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 21,570百万円 2024年12月期 22,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	2.00	2.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	63,000	2.4	630	342.6	630	177.7	800	19.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 上海燦港郵輪科技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期1Q	93,335,103 株	2024年12月期	93,335,103 株
期末自己株式数	2025年12月期1Q	1,918,700 株	2024年12月期	1,918,533 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期1Q	91,416,512 株	2024年12月期1Q	91,416,632 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進展する中、大手企業を中心に雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復が期待される状況となっております。インバウンド需要の拡大に伴い、訪日外国人による消費も高水準で推移しております。一方で、物価上昇の継続、米国の金融政策動向、中東地域の地政学的リスク、ならびに金融・資本市場の不安定な動きなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、経営理念「豊かで多様なライフスタイル“Global Life Style”の提案とその進化・創造の支援」の実現を目指し、事業の再成長に向けて、中期経営計画（2025年度～2027年度）を策定しました。変化の激しい経営環境の中においても、柔軟かつ迅速に対応し、グループ全体での競争力強化と事業ポートフォリオ再編に向けて、「収益を優先した改革・成長投資」、「更なる選択と集中」、「顧客セグメントの拡大/シフト」、「グループシナジーの最大化」の4つを重点戦略テーマとし、各施策に取り組んでまいります。

ギフトソリューション事業においては、コラボレーション商品を皮切りに、プレミアムスイーツのラインアップ強化しております。また、リテール事業の免税店舗では、「選択と集中」の方針のもと、経営資源の最適配分を図るため店舗の統廃合を実施し、次期店舗体制の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、リテール事業のアパレル店舗において季節の変わり目の消費者ニーズを掴みきれず、売上高は11,477百万円（前年同期比10.1%減）となりました。営業損失は1,047百万円（前年同期は902百万円の損失）、経常損失は1,183百万円（前年同期は798百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は1,232百万円（前年同期は799百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（ギフトソリューション事業）

当事業セグメントにおきまして、主に贈物としての洋菓子や雑貨、生活関連用品の販売や、物流・ECサイト運営・コールセンター運営などの各種サービスを提供しております。

洋菓子のプライベートブランド「THE SWEETS」では、新商品開発や様々なフレーバーの展開などを通じて販路拡大に取り組んでおります。また、サービスに関してはギフト商品の販売で培った機能を活かし、アパレル向けの物流業務やEC運営業務への対応などを通じてグループ内でのシナジーの創出にも取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、6,195百万円（前年同期比9.4%減）となり、セグメント損失は268百万円（前年同期は329百万円の損失）となりました。

（リテール事業）

当事業セグメントにおきましては、免税店舗において訪日外国人旅行客数が引き続き増加し、1月には過去最大の来日数を記録するなど、堅調なインバウンド需要を背景に、高粗利商品の販売強化により、粗利率は前年を上回る水準で推移しております。また、2月にはポップアップ店舗を出店するなど、需要に柔軟に対応する取り組みを進めてまいりました。一方、事業戦略の見直しに伴い、店舗統廃合を実施しております。また、国内顧客を主に対象とするアパレル店舗では、1月には恒例大型セールで好調に推移致しました。一方で、2月は西武渋谷店の閉店に加え、気温の低さなど気候要因の影響もあり、前年同期比ではやや伸び悩みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,803百万円（前年同期比9.8%減）となり、セグメント損失は430百万円（前年同期は223百万円の損失）となりました。

（トレーディング事業）

当事業セグメントにおきましては、中国国内で展開する日本料理店「くろぎ」において、周年記念ディナーの開催や日本系企業向けのパーティメニューの提供など、『和食の心の追求』をテーマに掲げ、新規顧客の獲得とブランド認知度の向上に注力してまいりました。さらに、中国市場における顧客ニーズの分析を進めるとともに、今後の事業再開に向けた取り組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、84百万円（前年同期比70.7%減）となり、セグメント損失は14百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

（アセット・サービス事業）

当事業セグメントにおきましては、商業施設物件の仲介業務およびグループ企業が保有する不動産の管理業務を行っております。商業施設においては、テナントの入れ替えや新業態の誘致を積極的に推進した結果、入居率は緩やかに上昇傾向にあります。また、グループ保有の遊休不動産については、整理・売却を進めることでキャッシュ・フローの改善を図るとともに、コスト削減による収益性の向上にも努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、392百万円（前年同期比24.6%増）となり、セグメント損失

は31百万円（前年同期は52百万円の損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、38,100百万円（前連結会計年度末44,061百万円）となりました。これは主に、現金及び預金が1,724百万円、受取手形及び売掛金が4,528百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債合計は、16,519百万円（前連結会計年度末21,070百万円）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,326百万円、電子記録債務が128百万円、短期借入金が150百万円、流動負債その他が690百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、21,581百万円（前連結会計年度末22,991百万円）となりました。純資産の減少は、主に、利益剰余金が1,232百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想（2025年2月14日公表）についての修正はありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の情報は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,810	9,086
受取手形及び売掛金	12,201	7,673
棚卸資産	6,458	6,559
その他	4,002	4,233
貸倒引当金	△266	△215
流動資産合計	33,206	27,336
固定資産		
有形固定資産	5,511	5,467
無形固定資産	880	812
投資その他の資産		
その他	7,793	7,805
貸倒引当金	△3,341	△3,342
投資その他の資産合計	4,451	4,463
固定資産合計	10,843	10,743
繰延資産	12	20
資産合計	44,061	38,100

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,428	4,102
電子記録債務	1,525	1,396
短期借入金	2,700	2,550
未払法人税等	77	12
引当金	328	272
その他	4,925	4,234
流動負債合計	16,985	12,568
固定負債		
長期借入金	315	162
引当金	295	292
退職給付に係る負債	843	828
資産除去債務	872	879
その他	1,757	1,788
固定負債合計	4,084	3,951
負債合計	21,070	16,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	17,652	17,469
利益剰余金	7,078	5,846
自己株式	△2,419	△2,419
株主資本合計	22,411	20,996
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	564	568
退職給付に係る調整累計額	4	5
その他の包括利益累計額合計	569	573
新株予約権	10	10
純資産合計	22,991	21,581
負債純資産合計	44,061	38,100

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
売上高	12,770	11,477
売上原価	8,661	7,835
売上総利益	4,109	3,641
販売費及び一般管理費	5,012	4,689
営業損失（△）	△902	△1,047
営業外収益		
受取利息	6	6
為替差益	129	—
その他	7	5
営業外収益合計	143	11
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	—	112
持分法による投資損失	11	8
支払手数料	15	—
その他	9	24
営業外費用合計	38	147
経常損失（△）	△798	△1,183
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	1	0
関係会社清算損	—	13
事業再編損	—	29
その他	—	0
特別損失合計	1	43
税金等調整前四半期純損失（△）	△799	△1,225
法人税等	0	6
四半期純損失（△）	△799	△1,232
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△799	△1,232

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
四半期純損失（△）	△799	△1,232
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17	3
退職給付に係る調整額	△0	0
その他の包括利益合計	17	4
四半期包括利益	△781	△1,227
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△781	△1,227

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ギフト ソリューション事業	リテール 事業	トレー ディング 事業	アセット・ サービス 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,841	5,323	289	315	12,770	—	12,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	46	9	8	84	149	△149	—
計	6,888	5,333	298	400	12,920	△149	12,770
セグメント利益又は損失 (△)	△329	△223	6	△52	△599	△303	△902

（注）1 セグメント利益の調整額△303百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△308百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ギフト ソリューション事業	リテール 事業	トレー ディング 事業	アセット・ サービス 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,195	4,803	84	392	11,477	—	11,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	100	11	2	110	223	△223	—
計	6,295	4,815	86	503	11,700	△223	11,477
セグメント利益又は損失 (△)	△268	△430	△14	△31	△744	△303	△1,047

（注）1 セグメント利益の調整額△303百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△304百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
減価償却費	168百万円	207百万円
のれんの償却額	1百万円	4百万円